

### 環境調査結果のお知らせ

令和3年7月6日午前に野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

#### 概況

漁場環境は水温が22.7～26.6℃、塩分が32.6～34.0、溶存酸素量が6.2～7.6mg/Lでした。  
湾内の透明度は3.8～6.0mで、有害種のカレニア・ミキモイが最高で4cells/mL確認されました。

#### 水温と塩分(表1・2)

水温は22.7～26.6℃、塩分は32.6～34.0でした。

前回調査時(R3.6.22)と比較して、水温は全層で0.9～1.6℃上昇しました。塩分は表層から5m層で0.4～1.3上昇し、10m層では前回と同様の値を示し、底層では0.1低下しました。

#### 溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は6.2～7.6mg/Lでした。

前回調査時と比較して、表層から10m層で0.2～0.7mg/L減少し、底層で0.1mg/L増加しました。

#### プランクトン(表4・5)

湾内の透明度は3.8～6.0mでした。

検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で4cells/mL確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルなどに海水を採取して、中央漁業指導所または水産試験場までご連絡ください。

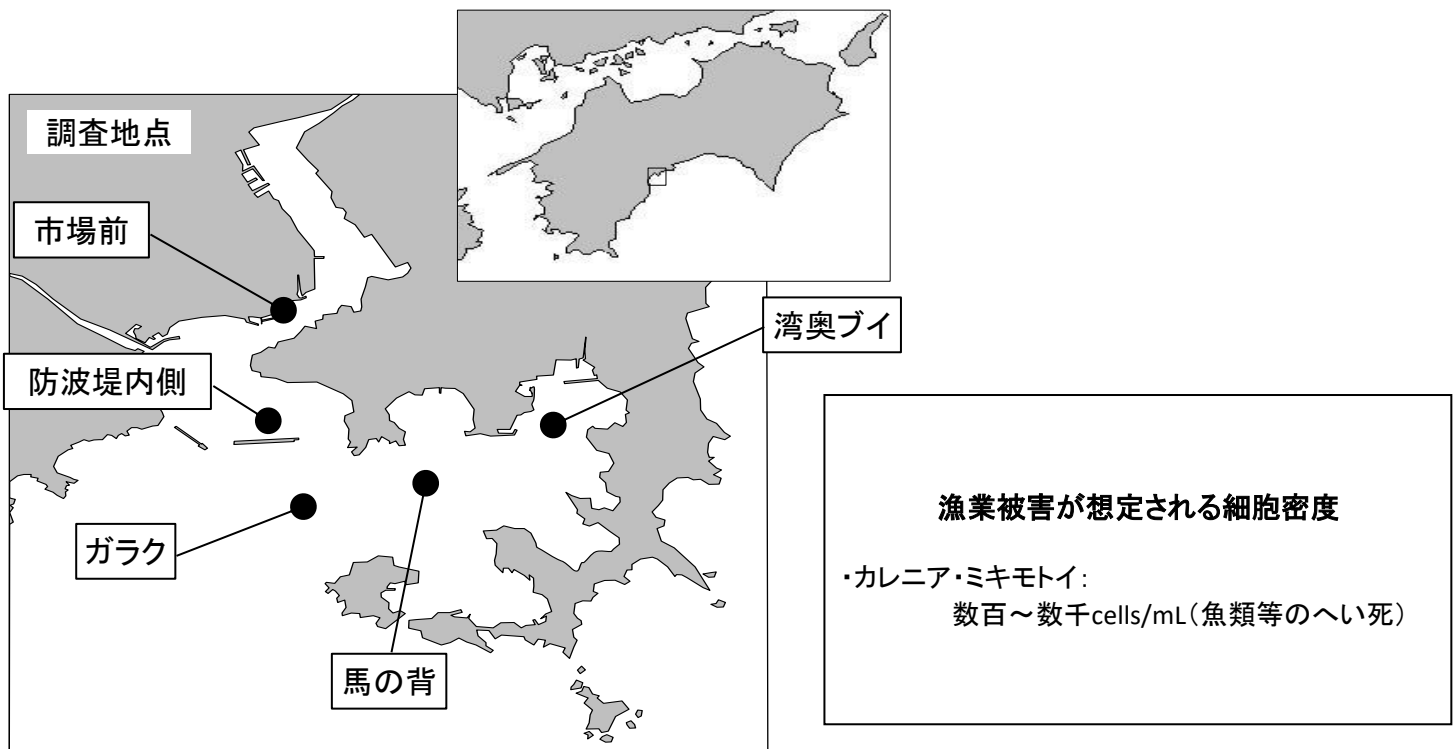


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.6.22)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	26.4	26.6	26.0	<b>26.3</b>	24.7	1.6	26.7	27.0
2m	26.0	26.2	25.6	<b>25.9</b>	24.6	1.3	26.3	26.7
5m	24.7	24.8	25.1	<b>24.8</b>	23.7	1.1	25.5	25.0
10m	23.8	24.0	24.2	<b>24.0</b>	23.0	1.0	23.9	24.2
B-1m	23.2	22.7	23.6	<b>23.1</b>	22.2	0.9	23.4	0.0

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.6.22)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	32.6	32.7	32.7	<b>32.7</b>	31.4	1.3	28.2	27.3
2m	32.7	32.7	32.9	<b>32.7</b>	31.6	1.1	31.4	28.5
5m	33.1	33.1	33.1	<b>33.1</b>	32.7	0.4	32.7	32.8
10m	33.6	33.5	33.4	<b>33.5</b>	33.5	0.0	33.5	33.2
B-1m	33.8	34.0	33.7	<b>33.8</b>	33.9	▲ 0.1	33.7	0.0

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	漁場平均※	前回調査 (R3.6.22)		津波防波堤内側	市場前
					漁場平均※	前回との差 今回-前回		
0m	7.4	7.4	7.5	<b>7.4</b>	8.1	▲ 0.7	8.2	8.2
2m	7.6	7.5	7.5	<b>7.5</b>	8.2	▲ 0.7	8.3	8.1
5m	7.1	7.4	6.8	<b>7.1</b>	7.7	▲ 0.6	7.5	6.7
10m	6.2	7.0	6.9	<b>6.7</b>	6.9	▲ 0.2	6.6	5.8
B-1m	6.6	7.0	7.0	<b>6.9</b>	6.8	0.1	5.9	0.0

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤内側	市場前
水深	16.3	24.2	15.4	1.0	10.9
透明度	5.0	5.5	6.0	5.0	3.8
前回(6/22)	3.7	4.5	5.2	3.5	2.8

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモイ	珪藻類
湾奥ブイ	0m	0	1,100
	2m	0	800
	5m	0	860
馬の背	0m	0	450
	2m	0	660
	5m	0	960
ガラク	0m	0	1,180
	2m	0	1,060
	5m	0	720
津波防波堤内側	0m	0	1,620
	2m	0	700
	5m	0	440
市場前	0m	0	1,780
	2m	0	1,500
	5m	4	280